

「弟子になる」 Becoming a Disciple

① ルカの福音書 14:26-27

「わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分のいのちまでも憎まないなら、わたしの弟子になることはできません。自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。」

② マタイの福音書 4:19-20

イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」彼らはすぐに網を捨てて従った。

③ ローマ人への手紙 6:6

私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。

④ ピリピ人への手紙 3:7

しかし私は、自分にとって得であったこのようすべてのものを、キリストのゆえに損と思うようになりました。

⑤ ピリピ人への手紙 3:10-11

私は、キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、キリストの死と同じ状態になり、何とかして死者の中からの復活に達したいのです。

ハーバート・バルブーティー師のプロフィール

ハーバート師は2006年、18歳の時にアフリカで、ハイデイベーカークとローランドベーカークと共に働くためアイリスグローバルに加わりました。そこで3年間、モザンビークで宣教活動に加わり、貧しい人々への食料配給などの働きをしました。ハーバートとローレイはカンザスにて2010年に結婚し、挙式の10日後にはブラジルへ引っ越しました。そこでアイリスミッションベースを設立し、スラム街、赤線区域の場所で貧しい人々や売春婦の人々に奉仕し、また同時にアウトリーチが行われていない、最も暗い地域に宣教師を送るための宣教師の訓練と育成に注力しました。そのベースは現在も成長し続けており、リーダーシップのある説教者や宣教師たちを輩出しています。

その後ブラジルから移動し、アメリカでアイリスグローバルのシニアリーダー達と共にミッションベースやトレーニングスクールを監督し、その発展に貢献しました。また、彼らと共に毎年アフリカで宣教師のトレーニングスクールを開催して、訓練された宣教師を世界各地へと派遣し続けました。また、ハーバートとローレイは、結婚前のまだお互いが知り合う以前から既に神様がアジアに送り出して下さる思いが与えられていて、現在実際に日本に来てこれからミッションベースを立て上げる思いが与えられています。2人は、これから神様が何を将来して下さるのかにわくわくし、楽しみにしています！

